

令和 7 年度 第 1 回 若葉区民対話会
(みつわ台地区町内自治会連絡協議会)

令和 7 年 9 月 2 8 日(日)

〈次第〉

1 開会

2 意見交換会

(1) 地域の抱える課題の共有と活気あるまちづくりに向けた方策について

区長)

- 高齢化で自治会存続が危ぶまれている地域もあるが、なかなか解決に向けた妙案がない。例えば大学生に手伝ってもらおうというアイデアも提案されるが、地域に大学がなかったり、あっても忙しいなどの理由で難しかったりする。場合によっては、地元の中学生などもっと若い世代に手伝ってもらおうという手段もあるかもしれない。地域の存続について意見を聞きたい。
- また、その他、自治会が抱える課題などあれば共有いただきたい。

参加者)

- マンションの自治会だが、ゴミ出し等は管理組合の管理費で対応している・そのため、自治会活動は年に 2 回程度のイベントや会費の徴収など決まりきった仕事しかない。
- 色々な活動に PC とスキャナが必要。自治会費で購入しても、任期が 1 年など短い期間で交代すると、次の会長が扱えずに廃棄されることもある。
高齢者が多く事務ができる人もいない自治会は、事務を雇えば良いのではないかと考えた。年間 30～50 万円程度で事務をお願いし、会長等は表に立つ仕事に専念する。そういった場合に市から事務の補助金などがあると助かるのでは。

区長)

- 事務を雇っている自治会があるという話も聞く。貴重な意見感謝する。

参加者)

- 自治会で回覧を中止した。市政だよりが全戸配布しているため、回覧は全戸配布しなくても良いのではという考えで、班長の負担軽減も考えて無くした。参考にしてもらいたい。

参加者)

- そのような方法もあるが、市からの行政事務委託があるためやめられない。
また、回覧することで住民の生存確認もできるという効果があるため、廃止はしていない。
回覧は、12～13 程度の世帯でも 1 ヶ月以上かかることもある。完全に廃止はせず、掲示を活用しながら年に数回回覧はしている。
- 会費の徴収も生存確認のために各世帯を回っている

参加者)

- 国勢調査について。約 360 世帯を 4 人で調査している。
自治会役員で分担しているが高齢者には負担。
人員を雇うなど負担軽減を検討いただきたい。

区長)

- 市から自治会へのお願いを極力減らすために、自治会事務の棚卸しをしている。
会議出席を極力減らす、複数の部署に出している同じ内容の届出を減らすなど、無駄をなくす方法を検討中。
- 国勢調査についても、今のやり方は無理があるという旨の要望を各自治体から総務省に要望している。次回の調査では改善されるのではないかと期待している。

参加者)

- 国勢調査は郵便局や運送企業にお願いすれば良いのでは。少なくとも配るだけならそれでいい。ネットで回答すれば回収の手間も少ない。

参加者)

- 団地に住んでいる。同じ団地の方が名札をつけて回っていると違和感がある。
隣の団地の方に配ってもらうなどの配慮が必要では。
- 国勢調査の調査員は有償。「ボランティア」という言葉は無償と捉えがちだが、ボランティアでも有償の場合がある旨を伝えると違うのではないか。

5 閉会